

2年生のページ



10月13日「音楽鑑賞教室」

前期最後の日に行われた音楽鑑賞教室では、みんなでブラジルの音楽を楽しみました。ブラジルと言えば、もちろんサンバ！初めは、お行儀よくじーっと音楽を聴いていた2年生でしたが、次第にサンバのリズムにのって、心も体も解放的になり、「シキーニョ&



ポンジーア！
サンバのリズムは、楽しいね！

サンバモス」の皆さんと一緒に歌い、踊ることができました。

教えてもらった「あいさつサンバ」は、今でも教室で歌っています。「シキーニョ&サンバモス」の皆さん、ありがとうございました。



サッカーボールで一緒に遊んだよ。



みんなで列車になったよ。衣装もすごくきれいだったね。

10月29・30日「小泉牧場見学」

生活科「生きもの だいすき」に関連して、小泉牧場牧場まで牛との触れ合いに行ってきました。

まず初めに、牛をよく見て写生をしました。なかなかじっとしてくれない牛に、困りながらも一生懸命描



きました。人間の顔が一人一人違うように、牛も一頭一頭模様が違います。細い足でしっかり立っているところや、鼻の辺りがピンク色になっているところなども、よく見て描きました。



牛舎にもいれていただき、小泉さんたちが働く様子やたくさんある牛のえさも見ることができました。そして、小泉さんからは、牛乳は昔は高級品だったこと、牛から牛乳を搾ってから私たちの食卓に並ぶまで、なんと5回も検査があることも教えて

もらいました。

最後には、小泉さんに質問コーナーをしました。

2年生 「一番重い牛の体重は、どのくらいですか？」

小泉さん「約700キロくらいです。」



つまり、2年生一クラス分の子供たちの体重を合わせた重さに近いということ！

2年生 「牛一頭が出す牛乳の量は、どのくらいですか？」

小泉さん「約20Lです。」

夏休み前に、水のかさを勉強した2年生ですので、その量の多さに驚きました。

また、どの牛にも名前を付けて大事にしていること、そしてお乳を出す役目を終え出荷をした後も、一頭一頭の名前を忘れないように名前を書いた紙をずっと大切にしておいていることも教えていただきました。

間近に見た本物の牛や小泉さんのお話から、2年生たちは命の尊さを学ぶことができました。かわいくて、大きな牛さんたちにまた会いに行きたいですね。

